

麴こうじではなく、糴こやし
それは見事な米の花

数十億、数千億という糴の中のほんの1花
(山田錦40%精米) 写真集・大吟醸より

12

平成21年

出糴直前の糴【撮影：河野裕昭】

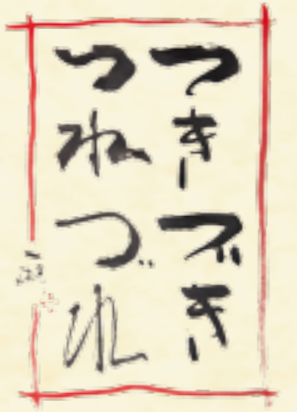


広報のと 第58号

平成21年12月1日発行

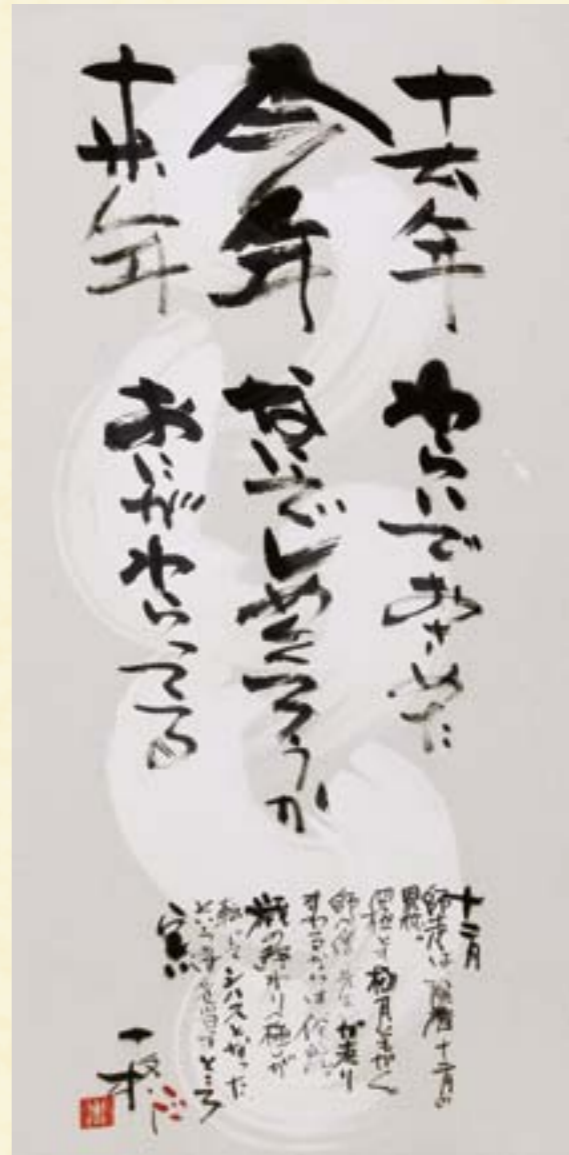
発行：能登町 編集：広報情報推進課
〒927-0492
石川県鳳珠郡能登町字出津新1字1-97番地1

☎：0768-62-11000(地)
能登町URL：http://www.town-noto.shikawa.jp
Eメール：info@town.noto.lg.jp



師走しわす

能登に恋した
抒情書家
室谷一柁・朱琴・文音
が描く能登の12カ月



去年 わらいでおさめた
今年 なにでしめくろつか
来年 おがわらって

十二月
師走は、陰暦十二月の異称。
四極とも極月ともかく。
師へ僧・先生が走りまわるからは俗説。
歳の終わり(極)が転じてシハスとなった
というのは妥当なところらしい

抒情書家の生命は
山の水で墨を磨ること
抒情書家の生活は
便利を捨てて不便を捨てること
抒情書家の信条は
芸術と生活の間に無理と無駄をなくすこと
抒情書家の希望は
不変でありつづけること

「昨日
今
明日」 題..ほどよい緊張感

毎朝は
初水波みに裏山の中腹まで往復
袖径をヤカンをさげて
天候によつてはこれだけでもふらつきなが
らなのに
犬二匹
川まで降りたり頂まで登ったりしてでも
山清水に辿りつくのはいつも先

夕飼の
朱琴の肴づくりの精根に報いるためにも
元気で草刈りをして雪掻きをして
日本中の地酒を
飲み干さねば...

一柁



室谷一柁・朱琴・文音

平成18年、京都府美山町から能登町大箱に移住した抒情書家。遠島山公園「ハーモニーセンター」物語の第2章となる秋展は、1カ月間で延べ580人が来場。多くの人々が秋色の遠島山公園と芸術作品に触れた。

奥能登
に
抒情書家
あり
アトリエ
を
五友宿
という